

第1回

「黒潮文化交流の祭典」企画委員会



日 時 : 平成25年(2013年)11月7日(木)

午後1時30分～

場 所 : 西之表市民会館 202・302 会議室

黒潮文化 交流の祭典（H27.11.8 開催 日泊緑地公園）

種子島（西之表市）における黒潮文化交流「鉄砲伝来・甘藷伝来及び栽培」の2つにスポットをあて、全国の火縄銃保存会による試射・模擬合戦の再現、甘藷の歴史紹介・焼き芋の実演など開催し、黒潮文化が生んだ種子島のよさを改めて再認識する場を提供する。

『焼き芋交流フェスタ in 種子島（仮称）』の開催

概要

わが国では江戸時代以降、カライモ（サツマイモ：甘藷）は琉球より黒潮海流を伝って普及し、今もなお庶民に親しまれる食べ物である。

とくに種子島（西之表市）においては、青木昆陽が徳川吉宗の命を受けて江戸で甘藷栽培に成功する以前にいち早く琉球より仕入れたカライモが栽培されており、飢饉等による食糧難にあえいでいた島民を救う貴重な作物であった。そして、現在「安納いも」が種子島のカライモとしてブランド化され、その代表的な調理法で、今もなお庶民に親しまれている「焼き芋」が主要デパートでは高値で売られるなど、知名度はすでに全国区になった。最近ではネット通販が急増し、島外に向けて新たな需要が生まれており、島内の事業所は全国展開をめざす取り組みを行っている。

このような状況を踏まえ、島民にとってはなくてはならない作物であるカライモを今後、よりいっそう日本の食文化の主要産物となるよう、島内外のカライモ生産関連団体との協力はもとより、学術的な交流事業を行っている日本いも類研究会の協力・支援をいただきながら、ポピュラーかつ人気ある調理法「焼き芋」に着目し、種子島から全国に向けて発信した『第30回国民文化祭・かごしま2015 焼き芋交流フェスタ in 種子島（仮称）』を開催する。

イベント内容

- 種子島カライモ伝来の歴史（パネル展示）

甘藷の歴史～甘藷栽培発祥の地「種子島」～「安納いも」ブランド化へ

- 各地の優れたサツマイモブランドや関連商品を展示（原則無償による提供）

焼き芋、干し芋、菓子類、生芋、書籍等、各企業等による販売実績のパネル紹介（商品展示できない場合）

- 複数種類の焼き芋のおいしい調理法の実演・無料配布（賛同企業等からの提供）

島内産に限らず、広く全国に呼びかけ業者を募集する。☞安納いも推進本部及び日本いも類研究会の支援・協力

- その他

会場は「全国の火縄銃保存会による試射・模擬合戦の再現」と同時開催し、日泊緑地公園にブースを設け行う。

『戦国鉄砲絵巻祭（仮称）』の開催

概 要

1543年(天文12年)8月25日、九州南方の種子島門倉岬に漂着した一隻の中国船に、ポルトガル人が便乗していた。彼の持っていた鉄砲に着目した時の島主種子島時堯は、金2,000両を投じてこれを譲り受け、使用法を教わる。鉄砲の威力を知った時堯は、種子島在住の鍛冶・八板金兵衛清定に命じて早速その複製をつくらせた。これより鉄砲の製作は、またたくまに全国にひろがり、やがて滋賀県国友や、大阪府堺などで大量につくられるようになった。

鉄砲が種子島に伝来した当時、日本は各地に群雄が割拠する戦国時代であった。いち早く鉄砲の戦略価値に目をつけた織田信長は、1575年(天正3年)5月21日、長篠の戦いに数百挺の鉄砲対を編成、武田勝頼の騎馬隊と対峙して、圧倒的な勝利を得た。新兵器の出現で、これまでの戦闘方式を一変したことを知った群雄、武將は、急いで鉄砲の調達につとめ、国内の鉄砲鍛冶が盛んになった。

一挺の鉄砲が種子島に伝来してから約30年、驚くべき速度で普及したのは、日本の鍛金技術がすぐれていたからであり、とくに伝来地種子島の鍛冶集団の技術力とその技術を習得しようとしたたゆまぬ努力があったからである。

今一度、私たちは先人たちの功績を讃えるとともに、全国民に「鉄砲伝来の地 種子島」を再認識していただく絶好の機会として、『第30回国民文化祭・かごしま2015 戦国鉄砲絵巻祭（仮称）』を開催する。種子島の火縄銃が全国に与えた影響を歴史的臨場感たっぷりに現代に甦らせ、未来に継承できるような内容構成で祭りを展開する。

イベント内容

●模擬合戦シーンの再現

映画作品で見るとような圧倒的な存在を感持たせた本格的殺陣を取り入れ、実話に基づいた模擬合戦シーンを中核に、種子島の一般参加者も含め、祭りを盛り上げる演出をする。演出中では、地元種子島をはじめ招集した鉄砲隊と有志の鉄砲隊による試射演技を効果的に登場させる。

●甲冑装束&レプリカ銃で記念撮影会・武將行列

甲冑装束して、記念撮影会や西之表市街地での武將行列を予定している。

「第30回国民文化祭・かごしま2015」市町村主催事業実施計画

		市町村名	西之表市			
		担当部署	教育委員会社会教育課文化係			
		担当者職・氏名	主査・和田正樹			
		電話番号	0997-23-3215(種子島開発総合センター「鉄砲館」)			
		FAX番号	0997-23-3250(種子島開発総合センター「鉄砲館」)			
		メールアドレス	ks-bunnka@city.nishinoomote.lg.jp			
作成年月日	H25.9.15					
No.	30					
事業別テーマ名	黒潮が育んだ生活文化の豊かさに包まれる事業					
事業分類名	地域固有の文化の祭典					
事業名	黒潮文化交流の祭典					
サブテーマ	～種子島 黒潮が生んだ交流の証し～					
事業費(千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計		
	138	2,565	17,276	19,979		
開催会場	施設名	日泊みなと緑地公園				
	規模等	客席数	うち 車椅子席	ステージの 大きさ m	駐車可能 台数	アクセス
		席	席	幅 = 奥行 =	200台	西之表港高速船ターミナル裏
		概要 開場時間は午前9時30分から16時30分まで				
開催日時	平成27年11月8日(日) 10:00～16:00					
事業概要	種子島(西之表市)における黒潮文化交流にスポットをあて、火縄銃の試射伝来時の再現・合戦の再現・鍛冶技術の再現・甘藷伝来及び普及等についての紹介を実施する。あわせて、種子島(西之表市)をPRするため、地元の特産品等の展示・販売なども行う。					
開催内容	<p>【ステージプログラム:場内<メイン>】 火縄銃隊による試射演技、「戦国鉄砲絵巻祭(仮)」:実話に基づいた本格的な模擬合戦・武将行列 等</p> <p>【展示・販売:場内<サブ>】 種子島カライモ伝来の歴史(パネル展示)、各地の優れたカライモブランドや関連商品を展示(原則無償による提供)、複数種類の焼き芋の無料配布(賛同企業等からの提供)、種子島特産品の展示・販売 等</p> <p>【実演・体験コーナー:場内<サブ>】 複数種類の焼き芋のおいしい調理法の実演・野点の実演・甲冑装束&レプリカ銃で記念撮影会・武将行列に参加! 等</p>					
協力可能な文化団体等	全国火縄銃砲保存会、火縄銃・古式銃研究家、鍛冶研究会、日本いも類研究会、種子島観光協会、西之表市商工会、西之表市文化協会、種子屋久農業協同組合、漁業組合など					
併催イベント等	にしのおもて商工フェスタ(同会場で開催) 概要:種子島の特産品の展示販売					

●「黒潮文化交流の祭典」特別出演者について

【特別出演者謝金】

- ・国友鉄砲隊（滋賀県長浜市）6名
- ・堺火縄銃保存会（大阪府堺市）6名

【特別出演者旅費】

- ・国友鉄砲隊（滋賀県長浜市）6名
- ・堺火縄銃保存会（大阪府堺市）6名
- ・種子島火縄銃保存会（西之表市・南種子町）20名

火縄試射演技に対する火縄銃砲隊への謝金及び旅費である。種子島西之表市と滋賀県長浜市国友と大阪府堺市は、鉄砲が取り持つ縁で姉妹都市盟約を結び、現在でも各市で行われる祭り等にそれぞれ招かれ試射を行うなど、交流が盛んで歴史的にも深い関係にある。今回、両市より鉄砲隊を招聘し、「火縄銃」の試射を歴史絵巻（模擬）合戦で再現することは今後の交流においてもたいへん意義のある事業と考える。

また、実射できる者として、火縄銃所持登録者であること・火薬の配合や火縄銃の取扱いなど専門的な知識や経験が必要・火縄銃での射撃（砲術）を継承している団体（演武団体や流派）に所属している者が条件とされている。合戦の再現をするにあたり、特別な知識と技術をもった相当数の人員を要するため上記団体を招聘し、種子島ならではの事業を展開したい。そのため、開催地が離島であることや試射の度に火薬・貴重な火縄銃関連備品等の調達に苦勞されていることなどを考慮し、不安なくそれらを軽減するためにも、必要最低限人員分の謝金・旅費を計上している。

〈様式2〉

年度別に作成

様式第3号(第4条関係)

平成26年度国民文化祭市町村主催事業収支予算書

市町村名 西之表市

事業の名称	黒潮文化交流の祭典～種子島 黒潮が生んだ交流の証し～
-------	----------------------------

1 収入の部

事業費の項目	予算額(円)	積算内容
県実行委員会負担金	549,000	別紙のとおり
市町村負担金	2,016,900	〃
県負担対象事業収入 (B)	0	〃
市町村単独事業収入 (D)	0	〃
計	2,565,900	

2 支出の部

事業費の項目	予算額(円)	積算内容
負担対象経費	先催県調査旅費	0 別紙のとおり
	会場費	0 〃
	舞台制作等経費	0 〃
	特別出演者等経費	0 〃
	運搬等経費	0 〃
	打ち合わせ等経費	126,000 〃
	合同練習等経費	0 〃
	募集・作品管理費	0 〃
	審査経費	0 〃
	その他	560,300 〃
小計(A)	686,300	
負担対象外経費	市町村実行委員会運営費	2,000 別紙のとおり
	市町村企画委員会運営費	130,800 〃
	事務局運営費	1,746,800 〃
	視察調査費(県負担対象外)	0 〃
	出演者等経費(県負担対象外)	0 〃
	合同練習, プレイメント等経費	0 〃
	その他	0 〃
小計(C)	1,879,600	
合計(A+C)	2,565,900	
県実行委員会負担額	549,000	((A)-(B))×0.8 (千円未満切捨て)

平成26年度 国民文化祭市町村事業 事業費積算表

市町村名	西之表市	事業名	黒潮文化交流の祭典 ～種子島 黒潮が生んだ交流の証し～
------	------	-----	--------------------------------

県負担対象分

(単位:円)

科目・項目	節	内容	経費見積額					小計
			単価	数量	単位	回数	金額	
1 先催県調査旅費								
(1)先催県調査旅費	旅費							
							0	
2 会場費								
(1)会場使用料	使用料							
(2)付帯設備使用料	使用料							
(3)会場設営・撤去等経費		会場設置看板						
(4)その他必要とする経費	委託料	会場警備費						
							0	
3 舞台制作等経費								
(1)舞台制作費								
(2)舞台・音楽監督費								
(3)演出料・振付料								
(4)編曲等経費								
(5)その他必要とする経費								
							0	
4 特別出演者等経費								
(1)特別出演者等謝金	報償費							
(2)特別出演者等旅費	旅費							
(3)特別出演者等食料費	食糧費							
(4)通信費	役務費							
(5)その他必要とする経費								
							0	
5 運搬等経費								
(1)運搬及び搬出入経費		展示品・道具類搬出入経費						
		展示品・道具類運搬保険料(貴重品)						
		県外出演者道具運搬補助						
		県内出演者道具運搬補助						
(2)観客輸送用車両等借上料	使用料	観客輸送費						
	使用料	出演者輸送費						
(3)その他必要とする経費								
							0	
6 打ち合わせ等経費								
(1)事務打ち合わせ旅費	旅費	合戦再現にかかる構成等の打合せ協議(東京)	126,000	1人	1	126,000		
		出演交渉等旅費						
(2)通信費	役務費	打ち合わせ等通信費						
(3)その他必要とする経費								
							126,000	
7 合同練習等経費								
(1)指導者謝金	報償費							
(2)指導者旅費	その他旅費							
(3)練習会場使用料	使用料							
(4)付帯設備使用料	使用料							
(5)楽譜等印刷購入費	需用費							
(6)その他必要とする経費								
							0	
8 募集・作品管理費								
(1)募集要項等作成印刷費	需用費	募集要項作成費						
	需用費	応募票・郵送振込票作成費						
(2)通信費	役務費							
(3)作品等管理費		作品整理業務費						
(4)作品等保管関係経費	役務費	保管場所借上げ料						
	使用料	作品保険料						
(5)その他必要とする経費		専門誌募集広告掲載費						
							0	

平成26年度 国民文化祭市町村事業 事業費積算表

市町村名	西之表市	事業名	黒潮文化交流の祭典 ～種子島 黒潮が生んだ交流の証し～
------	------	-----	--------------------------------

市町村単独分

(単位:円)

科目・項目	節	内容	経費見積額					小計
			単価	数量	単位	回数	金額	
1 市町村実行委員会運営費								
(1)委員旅費	旅費	委員旅費						
(2)会議資料費	需用費	会議資料	2,000				2,000	
(3)会議室使用料	使用料							
(4)その他必要とする経費								
							2,000	
2 市町村企画委員会運営費								
(1)委員旅費	旅費	費用弁償(11人分)	7,150			4	28,600	
(2)会議資料費	需用費	会議資料	5,000				5,000	
(3)会議室使用料	使用料							
(4)その他必要とする経費	報酬	委員報酬(委員長)	2,300	1	人	4	9,200	
		委員報酬(委員)	2,200	10	人	4	88,000	
							130,800	
3 事務局運営費								
(1)旅費	旅費							
(2)消耗品費	需用費	消耗品費	5,000				5,000	
(3)通信費	役務費	通信運搬費	3,000				3,000	
(4)その他必要とする経費	賃金	専任臨時職員賃金	125,400	1	人	12	1,504,800	
	共済費	専任臨時職員社会保険料等	234,000	1			234,000	
							1,746,800	
4 視察調査費(県負担対象外)								
(1)委員旅費	旅費							
(2)職員旅費	旅費							
(3)その他必要とする経費								
							0	
5 出演者等経費(県負担対象外)								
(1)出演者旅費	旅費							
(2)その他必要とする経費								
							0	
6 合同練習、イベント等経費								
(1)参加者旅費	旅費							
(2)消耗品費								
(3)その他必要とする経費								
							0	
7 その他								
(1)市町村独自イベントに係る経費								
(2)記念品代								
(3)スタッフ・ボランティア経費								
(4)その他必要とする経費								
							0	
市町村単独事業収入								
(1)イベント参加料								
(2)その他収入								
							0	
事業収入合計(D)							0	

〈様式2〉

年度別に作成

様式第3号(第4条関係)

平成27年度国民文化祭市町村主催事業収支予算書

市町村名 西之表市

事業の名称	黒潮文化交流の祭典～種子島 黒潮が生んだ交流の証し～
-------	----------------------------

1 収入の部

事業費の項目	予算額(円)	積算内容
県実行委員会負担金	12,304,000	別紙のとおり
市町村負担金	4,972,600	〃
県負担対象事業収入 (B)	0	〃
市町村単独事業収入 (D)	0	〃
計	17,276,600	

2 支出の部

事業費の項目	予算額(円)	積算内容
負担対象経費	先催県調査旅費	0 別紙のとおり
	会場費	4,500,000 〃
	舞台制作等経費	7,250,000 〃
	特別出演者等経費	1,400,000 〃
	運搬等経費	900,000 〃
	打ち合わせ等経費	126,000 〃
	合同練習等経費	0 〃
	募集・作品管理費	0 〃
	審査経費	0 〃
	その他	1,204,000 〃
小計(A)	15,380,000	
負担対象外経費	市町村実行委員会運営費	2,000 別紙のとおり
	市町村企画委員会運営費	125,800 〃
	事務局運営費	1,768,800 〃
	視察調査費(県負担対象外)	0 〃
	出演者等経費(県負担対象外)	0 〃
	合同練習, プレイメント等経費	0 〃
	その他	0 〃
小計(C)	1,896,600	
合計(A+C)	17,276,600	
県実行委員会負担額	12,304,000	((A)-(B))×0.8 (千円未満切捨て)

平成27年度 国民文化祭市町村事業 事業費積算表

市町村名	西之表市	事業名	黒潮文化交流の祭典 ～種子島 黒潮が生んだ交流の証し～
------	------	-----	--------------------------------

県負担対象分

(単位:円)

科目・項目	節	内容	経費見積額					小計
			単価	数量	単位	回数	金額	
1 先催県調査旅費								
(1)先催県調査旅費	旅費						0	
2 会場費								
(1)会場使用料	使用料							
(2)付帯設備使用料	使用料							
(3)会場設営・撤去等経費		会場設置費(音響・運営機材等)	4,500,000	1	式	4,500,000		
(4)その他必要とする経費	委託料	会場警備費					4,500,000	
3 舞台制作等経費								
(1)舞台制作費	構成企画費	模擬合戦のシナリオ制作	850,000	1	式	850,000		
	デザイン設計費	舞台等制作に伴う	600,000	1	式	600,000		
(2)舞台・音楽監督費								
(3)演出料・振付料	出演俳優費	殺陣・アクション俳優	3,000,000	1	式	3,000,000		
(4)編曲等経費								
(5)その他必要とする経費	備品制作費	甲冑・装束・小物等	2,800,000	1	式	2,800,000	7,250,000	
4 特別出演者等経費								
(1)特別出演者等謝金	報償費	火縄銃試射に伴う謝金	10,000	32	人	320,000		
(2)特別出演者等旅費	旅費	国友・堺鉄砲隊招聘に伴う	90,000	12	人	1,080,000		
(3)特別出演者等食料費	食糧費							
(4)通信費	役務費							
(5)その他必要とする経費							1,400,000	
5 運搬等経費								
(1)運搬及び搬出入経費		展示品・道具類搬出入経費	10,000	10	件	100,000		
		展示品・道具類運搬保険料(貴重品)						
		県外出演者道具運搬補助						
		県内出演者道具運搬補助						
(2)観客輸送用車両等借上料	使用料	観客輸送費						
	使用料	出演者輸送費						
(3)その他必要とする経費		甲冑・装束・小物等運搬費	800,000	1	式	800,000	900,000	
6 打ち合わせ等経費								
(1)事務打ち合わせ旅費	旅費	合戦再現にかかる構成等の打合せ協議(東京)	126,000	1	人	126,000		
		出演交渉等旅費						
(2)通信費	役務費	打ち合わせ等通信費						
(3)その他必要とする経費							126,000	
7 合同練習等経費								
(1)指導者謝金	報償費							
(2)指導者旅費	その他旅費							
(3)練習会場使用料	使用料							
(4)付帯設備使用料	使用料							
(5)楽譜等印刷購入費	需用費							
(6)その他必要とする経費							0	
8 募集・作品管理費								
(1)募集要項等作成印刷費	需用費	募集要項作成費						
	需用費	応募票・郵送振込票作成費						
(2)通信費	役務費							
(3)作品等管理費		作品整理業務費						
(4)作品等保管関係経費	役務費	保管場所借上げ料						
	使用料	作品保険料						
(5)その他必要とする経費		専門誌募集広告掲載費					0	

平成27年度 国民文化祭市町村事業 事業費積算表

市町村名	西之表市	事業名	黒潮文化交流の祭典 ～種子島 黒潮が生んだ交流の証し～
------	------	-----	--------------------------------

9 審査経費							
(1)審査員謝金	報償費	県外審査員謝金					
		県内審査員謝金					
(2)審査員旅費	その他旅費	県外審査員旅費					
		県内審査員旅費					
(3)審査員食糧費	食糧費						
(4)審査会場使用料	使用料						
(5)審査資料作成費	需用費						
(6)通信費	役務費						
(7)その他必要とする経費							
							0

10 その他							
(1)各種資料作成費	需用費	チラシ(A4)印刷費	9	20,000	部		180,000
		ポスター(B2)印刷費	330	600	部		198,000
		ポストカード(A6)印刷費	44	####	部		176,000
		プログラム(A3)印刷費	55	####	部		275,000
	委託料	からも伝来資料パネル製作委託	315,000	1	式		315,000
(2)通信費	役務費	郵送費(火縄銃にかかる)	5,000	10	件		50,000
(3)表彰関係費							
(4)著作権料							
(5)手話通訳者等経費							
(6)その他必要とする経費	役務費	手数料(火薬使用許可申請)	5,000	1	件		5,000
	役務費	保険料(火縄銃にかかる損害保険)	5,000	1	件		5,000
							1,204,000
県負担対象分合計(A)							15,380,000

県負担対象事業収入							
(1)応募料		応募料					
(2)入場料		入場料					
(3)その他収入		広告等収入					
							0
県負担対象事業収入合計(B)							0

平成27年度 国民文化祭市町村事業 事業費積算表

市町村名	西之表市	事業名	黒潮文化交流の祭典 ～種子島 黒潮が生んだ交流の証し～
------	------	-----	--------------------------------

市町村単独分

(単位:円)

科目・項目	節	内容	経費見積額					小計
			単価	数量	単位	回数	金額	
1 市町村実行委員会運営費								
(1)委員旅費	旅費	委員旅費						
(2)会議資料費	需用費	会議資料	2,000	1	式		2,000	
(3)会議室使用料	使用料							
(4)その他必要とする経費								
							2,000	
2 市町村企画委員会運営費								
(1)委員旅費	旅費	費用弁償(11人分)	7,150			4	28,600	
(2)会議資料費	需用費	会議資料						
(3)会議室使用料	使用料							
(4)その他必要とする経費	報酬	委員報酬(委員長)	2,300	1	人	4	9,200	
		委員報酬(委員)	2,200	10	人	4	88,000	
							125,800	
3 事務局運営費								
(1)旅費	旅費							
(2)消耗品費	需用費	消耗品費	30,000				30,000	
(3)通信費	役務費							
(4)その他必要とする経費	賃金	専任臨時職員賃金	125,400	1	人	12	1,504,800	
		専任臨時職員社会保険料等	234,000	1	人		234,000	
							1,768,800	
4 視察調査費(県負担対象外)								
(1)委員旅費	旅費							
(2)職員旅費	旅費							
(3)その他必要とする経費								
							0	
5 出演者等経費(県負担対象外)								
(1)出演者旅費	旅費							
(2)その他必要とする経費								
							0	
6 合同練習、プレイベント等経費								
(1)参加者旅費	旅費							
(2)消耗品費								
(3)その他必要とする経費								
							0	
7 その他								
(1)市町村独自イベントに係る経費								
(2)記念品代								
(3)スタッフ・ボランティア経費								
(4)その他必要とする経費								
							0	
市町村単独事業収入								
(1)イベント参加料								
(2)その他収入								
							0	
事業収入合計(D)							0	

今後の予定

年度	西之表市	鹿児島県
平成25年度	国民文化祭西之表市実行委員会の設置、開催 企画委員会開催 主催事業実施内容等の検討 出演・協力団体の検討及び一部協力依頼 先催県調査視察 広報活動 26年度予算作成 27年度概算予算作成	県実行委員会の開催 企画委員会の開催 専門部会の設置・開催 実施計画大綱決定 市町村説明会の開催 広報活動
平成26年度	実行委員会開催 企画委員会開催 主催事業実施内容の決定 開催要綱・募集要項の作成 プレ国民文化祭の協力又は実施 先催県調査視察 中央団体との打合せ 出演団体調整・協力依頼 市民・島民への広報活動 ボランティアの募集・養成 27年度予算作成	県実行委員会の開催 企画委員会の開催 専門部会の開催 事業別実施内容の決定 開催要綱、募集要項の作成・配布 プレ国民文化祭の開催 全国広報キャンペーンの実施 各都道府県に出演団体の推薦依頼 (一部出演団体の決定)
平成27年度	実行委員会開催 企画委員会開催 出演団体の決定 各種団体との調整 広報活動 国民文化祭西之表市主催事業開催 実施報告書、記録の作成	県実行委員会の開催 企画委員会の開催 専門部会の開催 出演団体の決定 協賛事業の実施 国民文化祭の開催 実施報告書・公式記録の作成

第1回 国際焼き芋交流フォーラム

～世界初、焼き芋の学術的交流会～

開催要綱

趣旨

「焼き芋」はサツマイモの最も代表的な調理法で、我が国では江戸時代から家庭に親しまれた食べ物（食文化）でした。そして最近ではスーパー店頭での販売やネット通販が急増するなど新たな需要が生まれています。また、焼き芋に向く新しい品種や様々な関連製品も開発されるようになり、国際展開を目ざす企業ベースの取り組みも始まっています。このような状況を踏まえ、国内外でのサツマイモ産業の発展に貢献すべく諸外国との交流を進め、我が国から「焼き芋」を食文化として世界に発信します。

テーマ

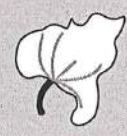
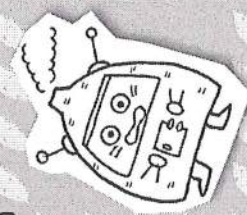
『世界の焼き芋の現状と未来』

日時・場所

- 2011年11月26日(土) 13:00～17:00
27日(日) 9:30～17:00
〈女子栄養大学 坂戸キャンパス (埼玉県坂戸市千代田3-9-21)〉
- 2011年11月28日(月) 9:00～15:30
〈川越市内サツマイモ文化見学会〉

主催 ■日本いも類研究会 (国際焼き芋交流フォーラム実行委員会)

後援・協賛 ■財団法人いも類振興会、女子栄養大学、川越サツマイモ商品振興会、川越いも友の会、JAなめがた(茨城県農林水産省、埼玉県、川越市、坂戸市) ①



プログラムの概要と参加費

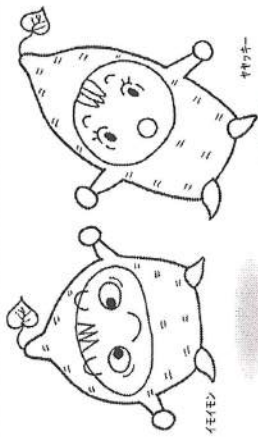
プログラム	参加定員	開催日時	参加費用
①市民公開講座	350名	11月26日 13:00～17:00	(無料)
②研究交流フォーラム(Ⅰ、Ⅱ)	150名	11月27日 9:30～17:00	(3,000円)
③交流パーティー	80名	11月26日 18:00～20:00	(5,000円)
④展示・試食・mini説明会	随時	11月26・27日	(見学無料)
⑤デント催事(焼き芋即売等)	随時	11月28日 9:00～15:30	(見学無料)
⑥川越サツマイモ文化見学会	25名	11月28日 9:00～15:30	(5,000円)

注:④では希望者に「いもバランス弁当」(1,000円、参加費と別売)を販売

プログラム

1日	11/26 (土)	2日	11/27 (日)
12:00～13:00 開会	12:00～13:00 受付(12号館5階12501教室前)	9:00～9:30 受付(12号館3階12301教室前)	9:00～9:30 受付(12号館3階12301教室前)
13:00 実行委員長挨拶	13:00～13:10 来賓挨拶	9:30～12:00 ②研究交流フォーラム(Ⅰ)	9:30～12:00 講演「世界の焼き芋文化と焼き芋事情について」 台湾 瓜瓜園企業有限会社重責員 (代表取締役会長) 邱木城氏 インドネシア PT. CHAHAYA TIMUR JAYA 西俊一郎氏 米国 Nijiya Market 社長 辻野三股丸氏
13:10～13:20 来賓挨拶	13:10～13:20 ①市民公開講座(12号館5階12501教室)	12:00～13:30 昼食(試食)「いもバランス弁当」(事前申込者)	12:00～13:30 昼食(試食)「いもバランス弁当」(事前申込者)
13:20～17:00 テーマ「おいもと健康」	13:20～17:00 講演1「おいもと健康」 女子栄養大学 学長挨拶 香川芳子氏 講演2「健康のヒケツは題内環境コントロールにあり!」 解野義己氏 (理化学研究所イノベーション推進センター 特別招聘研究員)	13:30～16:30 講演1 国内産地の取り組みと今後の展開 JAなめがた 産地経済センター 一般生事業所長 金田富夫氏 有農社西田農産代表取締役 西田香樹氏 講演2) 焼き芋の現状と展望 有農社なるとや代表取締役 西山隆夫氏 株式会社たるたる産地取締役会長 森園弘氏	13:30～16:30 講演1) 国内産地の取り組みと今後の展開 JAなめがた 産地経済センター 一般生事業所長 金田富夫氏 有農社西田農産代表取締役 西田香樹氏 講演2) 焼き芋の現状と展望 有農社なるとや代表取締役 西山隆夫氏 株式会社たるたる産地取締役会長 森園弘氏
(13:20～13:30)	(13:20～13:30)	(13:30～14:15)	(13:30～14:15)
(13:30～15:00)	(13:30～15:00)	(14:15～15:00)	(14:15～15:00)
(15:00～15:15)	(15:00～15:15)	(15:00～15:45)	(15:00～15:45)
(15:30～17:00)	(15:30～17:00)	(15:45～16:30)	(15:45～16:30)
17:00 閉会	17:00 閉会	16:30～17:00	16:30～17:00
18:00～20:00	18:00～20:00	(15:45～16:30)	(15:45～16:30)
③交流パーティー(文化説明ホール:事前申込者)	③交流パーティー(文化説明ホール:事前申込者)	総括	総括
④海外からの参加者との交流(各国の焼き芋事情を紹介)	④海外からの参加者との交流(各国の焼き芋事情を紹介)	●フォーラム宣言(まとめ)	●フォーラム宣言(まとめ)
●焼き芋ソング、おいも健康体操、焼き芋キャラクター等を披露	●焼き芋ソング、おいも健康体操、焼き芋キャラクター等を披露	●今後の進め方(焼き芋学会(仮称)での周年開催etc.)	●今後の進め方(焼き芋学会(仮称)での周年開催etc.)
11/26(土)・27(日)	11/26(土)・27(日)	閉会 事務連絡	閉会 事務連絡
●展示・試食・mini説明会	●展示・試食・mini説明会		
●焼き芋及びサツマイモ関連製品(ジュース、ビール、ケーキ、まんじゅう、プリン、アイス、ようかん、菓子、etc.)	●焼き芋及びサツマイモ関連製品(ジュース、ビール、ケーキ、まんじゅう、プリン、アイス、ようかん、菓子、etc.)		
●焼き芋即売(JAなめがた)	●焼き芋即売(JAなめがた)		

*プログラムは事情により変更する場合があります



3日

川越サツマイモ文化見学会

9:00 川越第一ホテル集合
 9:00~9:15 妙善寺「川越さつまいも地蔵」見学
 9:15 川越第一ホテル出発(マイクロバス)
 9:40~11:00 現地見学
 ●舟運亭むかし資料館(戸田製麵)
 ●喜多阪
 ●紋蔵庵(いも菓子/いも大ダルマ)
 ●くらづくり本舗
 ●陸清堂(伝統いもせんべいづくり)

11:00~11:30 川越市長表敬訪問(予定)
 12:00~13:15 現地見学(菓子屋横丁・くらづくりの街並み・時の鐘)
 13:30~15:00 いも膳「交流昼食会」(和食御膳:ベニアカカの天ぷら・塩煮し焼き芋)
 15:30 解散(川越駅西口)

11/28
(月)

川越市

お申し込みは
 9月19日
 }
 10月31日まで

次の(A)(B)により参加をお申し込みください。

◆(A)「交流フォーラム」へのお申し込み <先着150名>

- 別紙「参加申込書」にご記入のうえ、FAXまたは郵送にて事務局までお申し込みください。
- 参加申込書を受理後に事務局より送付する「(交流フォーラム専用)郵便振替用紙」を用いて参加費をご送金ください。
- 参加費の納入をもって、正式な参加申込みとします。

なお、申込み後の参加費等の返金はいたしませんので、ご了承ください。

<事務局> 日本いも類研究会

TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225
 〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ギャップ赤坂303
 JRT事務局 (財団法人いも類研究会内)

<郵便振替先> 00100-4-298542 日本いも類研究会

◆(B)「川越サツマイモ文化見学会」へのお申し込み <先着25名>

- 別紙の参加申込書の該当部分にチェックを入れていただくとともに、川越いも友の会事務局(山田英次)あてに、直接、電話、ハガキまたはE-mailでお申し込みください。(お名前、人数、連絡先等)
- 「川越サツマイモ文化見学会」(11月28日)の参加費5,000円は、当日お支払いください。

川越いも友の会事務局 (山田英次)

TEL 049-286-7379 [携帯] 080-1342-2177 E-mail: eijison@lake.ocn.ne.jp
 〒350-2215 埼玉県鶴ヶ島市南町1-14-18

3

交通案内

◆女子栄養大学 坂戸キャンパス (若葉駅東口より徒歩3分)

- ・東京駅から
 東京一(JR山手線23分) → 池袋一(東武東上線:急行40分) → 若葉駅東口
- ・大宮駅から
 大宮一(JR川越線・埼京線:快速20分) → 川越一(東武東上線:11分) → 若葉駅東口

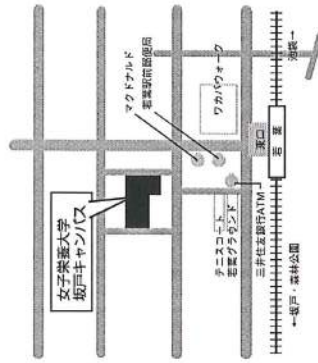
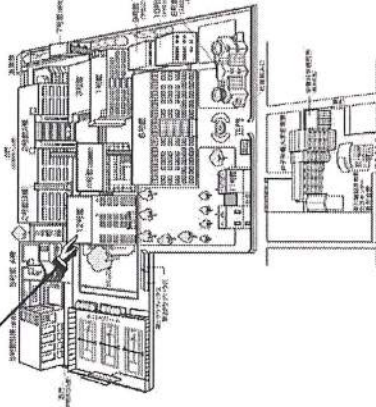
宿泊案内

◆宿泊希望者は、直接、ホテルにご予約ください。

- ・川越第一ホテル (川越駅東口より徒歩4分)
 TEL: 049-226-3711 川越市菅原町7-34
- ・若葉ビジネスホテル (若葉駅東口すぐ)
 TEL: 049-287-5311 鶴ヶ島市富士見1-1-14

女子栄養大学 坂戸キャンパスのご案内

フォーラム会場 http://www.eiyo.ac.jp/eiyo_campus/sakado.html



お問い合わせ先

- ◆日本いも類研究会事務局
 TEL 03-3588-1040
 FAX 03-3588-1225
 E-mail (国際崎字交流フォーラム事務局)
 yaki_imo@jrt.gr.jp
- ◆川越いも友の会事務局 (山田英次)
 [携帯] 080-1342-2177
 E-mail eijison@lake.ocn.ne.jp

4

第1回国際焼き芋交流フォーラムの概況について(報告)

— ニュースレター81号より抜粋 —

先月の26日(土)～28日(月)にかけて、当研究会の主催により第1回国際焼き芋交流フォーラムを開催しました。初めての試みでもあり、海外との連絡調整をはじめ、手探りの状態で準備を進めてきましたが、結果的には延べで約300人の参加を得ることができ、焼き芋文化を世界に広げ、4年ごとにフォーラムを開催しようという趣旨のフォーラム宣言を行って無事に終了することができました。以下、その概況を報告します。

1. 市民公開講座

26日(土)の午後、女子栄養大学坂戸キャンパス12号館の5階会議室に地元、坂戸市民の方々をはじめ約180人が参加して開催しました。冒頭、ベアリ・ドウエル実行委員長の開会宣言に続き、地元を代表して川越市の川合善明市長、そして女子栄養大学の香川芳子学長からご挨拶をいただき、以降、座長を務めていただいた神戸女子短期大学名誉教授の片寄眞木子氏の進行により「おいもと健康」というテーマで、二人の講師から講演をいただきました。

1人目は理化学研究所イノベーション推進センター辨野特別研究室の辨野義己氏(特別招聘研究員)で、演題は「健康のヒケツは腸内環境コントロールにあり!」。食生活をコントロールすることにより、『腸年齢』を若く保つことが健康の秘訣であることを、ご自身の体験も交えて非常に判りやすく解説いただきました。



2人めは元東京家政学院短期大学教授の津久井亜紀夫氏で、演題は「サツマイモ成分に秘められた健康パワー」。糖分、食物繊維、ビタミンC、アントシアニン色素、クロロゲン酸、ヤラピン類など、様々な成分に秘められた健康パワーを、長年にわたる研究生活の中で蓄積された貴重な研究成果に基づいて判りやすく説明いただきました。

さらに、お二人の講演の間には、女子栄養大学実践運動方法学研究室の金子嘉徳教授から、サツマイモをテーマに健康づくりのために創作した芋美(カンビ)体操を実演・披露いただくなど、半日という限られた時間の中で内容の濃い市民講座となりました。



夕刻には5号館の文化表現ホールに約70名が集まり、サツマイモ料理を楽しみながら、海外(台湾、米国、インドネシア、中国)、そして国内各産地からの参加者等の間で楽しく情報交流を

http://www.jrt.gr.jp/yaki_imoF/yakiimo.html

2013/11/06

行いました。特に、全員で取り組んだ芋美(カンビ)体操では、その効果を体感できた方が多かったのではないのでしょうか。

2. 研究交流フォーラム

2日目には約140名の参加を得て、12号館の3階会議室で研究交流フォーラムを行いました。午前中のテーマは、「海外の焼き芋事情、サツマイモ事情」。農業生産法人(株)VEGETA 穂顧問の山川理氏が座長を務め、冷凍焼き芋などの新製品を開発して急速に業績を伸ばしている台湾の瓜瓜園企業有限会社の陳金柱代表取締役、そして米国カルフォルニアを中心に日本食材を中心としたスーパーを展開している Nijiya Market の辻野三郎丸社長から、パワーポイントを使ってお話しを伺いました。

特に驚いたのは瓜瓜園で取扱っているサツマイモが2万トン強で台湾全体の生産量の約1割を占めること、冷凍焼き芋の開発により新たなニーズを創出することに成功していることなどです。また、辻野三郎丸社長からは、この日の講演のためにノースカロライナ州まで取材に足を伸ばして貴重な画像を提供いただきました。米国のサツマイモ栽培のスケールは非常に大きいのですが、一方で山川座長からコメントがあったように、収穫作業は人手に頼らざるを得ないことから、他の作物のように規模拡大ができないようです。辻野社長からは米国におけるサツマイモの生産が急増していること、日本タイプのサツマイモの需要拡大には新しい発想が必要であるが可能性は大きいことなどが提起されました。



午後のテーマは「国内産地の取り組みと今後の展開」、そして「焼きいもビジネスの現状と展望」。座長は日本いも類研究会の井上浩会長です。産地の取り組みについては、近年、スーパー店頭での焼き芋販売によりニーズを開拓して、焼き芋販売のスタイルを大きく変えてきたJAなめがた(茨城県)の金田富夫氏(営農経済センター麻生事業所長)と、密芋と呼ばれ、近年、大流行している安納芋の焼き芋に取り組んでいる種子島の有限会社西田農産の西田春樹代表取締役からパワーポイントを使ってビジュアルな説明を受けました。

また、焼きいもビジネスの現状と展望については、関西の焼き芋屋さんを代表して、大阪府中央卸売市場の流通センターで14年間、焼き芋に取り組んでいる有限会社なるとやの西山隆央代表取締役と、沖縄で焼きいもビジネスに取り組む、台湾やインドネシアなど、世界的なスケールで活動している株式会社たるたる亭沖縄の森園弘取締役会長から、動画を放映してお話しを伺いました。

3. 展示・試食・MiNi説明会

フォーラムの開催期間中、2つの教室を使ってサツマイモ品種サンプルや各産地のブランド品、焼き芋関連商品



http://www.jrt.gr.jp/yaki_imoF/yakiimo.html

2013/11/06

などを展示し、2日めの昼休みには、特別に用意した芋だくさんの「いもバランス弁当」を摂りながら試食・MiNi説明会を行いました。

展示品については79号のニュースレターをはじめ、研究会の会員に呼びかけるとともに、実行委員会のメンバーを通じて各方面にお願いしたところ、原則、無償という条件にもかかわらず、多くの方々から快く提供いただくことができました。この場をお借りして御礼を申し上げます。スケジュールの関係で、短い時間ではありましたが会場は大いに盛り上がり、熱心な意見交換が行われていました。以下は展示品等のリストです。

種 類	展 示 品	企業・団体名
焼き芋	沖縄の冷めてもうまい焼いも 台湾産黄金蜜芋 種子島の安納芋・焼き芋 やわらかおいも(含気加熱商品)	(株)たるたる亭沖縄 瓜瓜園企業有限公司 (有)西田農産 全農千葉県本部
干し芋	べっ甲ほし芋 ほしいも泉ちゃん ほしいも学校 「甘芋ん」(あまいもん)	(株)幸田商店 " " JA成田市
菓子ほか	川越蔵プリンほか 大学芋、スイートポテト 芋せんべい、芋ビールetc	株式会社スギヤマ 川小商店 川越サツマイモ商品振興会
さつまいも(生いも)	大栄愛娘、ペニコマチ さわらっこ べにはるか 紅こがね、べにまさり、紅優甘、紅赤、 パープルスイートロード ハヤトイモ、コガネセンガン、クリコガネ 新品種 シルクスイート 里むすめ 松茂美人 育成品種サンプル 紅赤、ひめあやか アヤコマチ、九州137号 七福(アメリカいも) 尼いも	JAかとり JA佐原 JA多古町 JAなめがた " さつまいもの館 カネコ種苗株式会社 JA里浦 JA松茂 作物研究所及び九州沖縄研 埼玉農林総研園芸研究所 株式会社VEGETA穂 新島ふれあい農園 尼いもクラブ(片寄氏)
じゃがいも	ポテトチップ・新製品 育成品種サンプル チューニョなど	(有)菊水堂 北海道農業研究センター 日本ポリビア協会(杉浦氏)
書籍	サツマイモ事典、品種パンフレット 「尼いもクッキング」、「尼いもの本」	(財)いも類振興会 尼いもクラブ(片寄氏)



4. 焼き芋即売

フォーラムの開催期間中、12号館前の校庭でJAなめがた(茨城県)のご協力により、焼き芋に向く5品種を揃えて焼き芋即売を行いました。用意したのは「紅こがね」(ベニアズマ)、「紅まさり」(ベニマサリ)、「紅優甘」(べにはるか)、「べにこまち」、「ひめあやか」。26日の午後一番、販売開始とともに長い行列ができ、持ち込んだ芋が無くなるほどの盛況でした。

担当された棚谷氏によれば、人それぞれの好み(とにかく甘い・ほどよい甘さ・しっとり・なめらか・ねっとり・ほくほく)の違い、特に年代別の好みの違いが実感できたそうです。多くの品種を用意したことにより、最初、自分好みの焼き芋を購入された方も次々と別品種にトライして品種による食味の違いなど、焼き芋の魅力と深さを楽しんでいただくことができました。



5. 川越サツマイモ文化見学会

3日目の28日(月)には、山田代表幹事による川越サツマイモ文化現地見学会を行い、約30名の参加者が市内の予定コース(舟運亭むかし資料館、戸田製麺、喜多院、紋蔵庵、くらづくり本舗、隆清堂、蔵造り街並み・時の鐘・菓子屋横丁)を巡りました。散策に際しては、川越サツマイモ商品振興会の戸田周一会長ならびにいも膳の神山正久社長に協力いただいたほか、時の鐘隣りにあるいも菓子店「右門」では、町田社長から自慢のいも恋まんじゅうと共に歓迎を受けました。

いも膳での交流昼食会のメニューは和食膳ならびにベニアカイも天ぷら・高級塩蒸し焼き芋。特に台湾の瓜瓜園一行は、塩蒸し焼き芋に感激されたようです。最後は、ドウエル実行委員長が13拍子の『イモ締め』を行い、和やかな笑いのうちに行程を終えました。

6. 最後に

フォーラムに際して次回の企画・運営の参考とするため、アンケート票を提出いただいたのですが、フォーラムの構成等については、ほとんどの方から「十分に満足できるものであった」との評価をいただくことができました。ただ、展示内容については、時間的余裕をもって産地に相談して貰えれば、より内容の濃い展示ができたと思うとの意見もあり、次回に向けての反省材料と考えます。なお、抄録集や講演資料については、執筆者等の了解を得てJRTWebに掲載することを予定しています。





岐阜県関ヶ原町では、10月20日・21日の2日間に渡って、「関ヶ原合戦祭り」を開催しました。

21日の正午からは、全国から参戦した甲冑武者や鉄棒隊が参加する、メインイベントの「関ヶ原合戦絵巻」を開始。

笹尾山会場では、西軍6武将隊、東軍3武将隊による「布陣パフォーマンス」を行ないました。(2012年 10/21日 撮影)



甲冑武者による「布陣パフォーマンス」

各武将隊ごとにアドリブによるパフォーマンスを披露しました。



東軍・西軍の各武将隊が清冽して出陣式を開催。

関ヶ原合戦410年祭公式イメージソングを歌う「さくらゆき」さんが登場して、「関ヶ原」を熱唱した後、「全軍武者行列」に出発しました。



「全軍武者行列」西軍の「石田三成」、「島左近」、「蒲生郷舎」、「島津義弘」、「大谷吉継」、「小早川秀秋」の各隊ごとに笹尾山会場を出発。

陣場野会場の「ふれあい広場」を目指して行軍します。



西軍武將の「石田三成」と東軍大將の「徳川家康」は、騎乗して行進、西軍武將の「大谷吉継」は、輿に乗って行軍しました。



東軍からは、「徳川家康」、「黒田長政」、「細川忠興」の三隊が参加しました。

14:00～ 陣場野会場の「ふれあい広場」で「関ヶ原合戦絵巻」を開始。



「関ヶ原合戦絵巻」では、慶長5年(1600)この地で起きた「関ヶ原合戦」を東軍・西軍に分かれた甲冑武者と鉄砲隊が再現します。

「関ヶ原合戦」は、1598年に豊臣秀吉の死により、五大老筆頭の「徳川家康」と五奉行で豊臣恩子の「石田三成」との間で始まった権力争い。

1600年7月 上杉討伐で大阪を留守にした「徳川家康」の隙をみて、石田三成が「徳川討伐」を掲げて挙兵。

「石田三成」は、東軍・徳川軍を迎え討つため「大垣城」に入場、対する東軍は、中山道の赤坂宿に陣を構える。

9月14日 赤坂宿の「勝山」に徳川家康本隊が到着、それを知った大垣城の西軍に動揺が走る。

島左近は、指揮を高める為、東軍の中村・有馬隊を杭瀬川に誘い出して殲滅。

大垣城の軍義で島津義弘は、疲労する「徳川隊」への「夜戦」を建言、しかし、「石田三成」は聞き入れず、「関ヶ原」で戦う事を決断。

雨が降る暗闇の中、大垣城を抜け出し「関ヶ原」に進軍しました。



上杉討伐に向かった「徳川家康」は、石田三成の挙兵による「伏見城」の陥落を知り、「小山評定」を開催。

「小山評定」では、直ちに「上杉討伐」を中止して、大阪へ戻って「石田三成」と戦う事を決定。清州城を目指して進軍しました。

東軍は、岐阜城を陥落させた後、長良川を渡って、石田三成の大垣城と対峙するため、中仙道の「赤坂宿」に陣を敷きました。



「大垣城」を抜け出した西軍は、笹尾山に「石田三成隊」、「島左近隊」、「蒲生郷舎隊」が陣を敷き、天満山に「宇喜多秀家隊」、天満山の麓に「小西行長隊」、その隣に「島津義弘隊」が陣を敷きました。



西軍・石田三成が「関ヶ原」へ向かった事を知った「徳川家康」は、直ちに各隊を関ヶ原に向かわせました。

南宮山の西軍「毛利隊」に対処するため、徳川本隊は垂井の「桃配山」へ布陣。



1600年 9月15日 朝霧の中、「井伊直政」は、宇喜多秀家隊に向かって発砲、福島隊が宇喜多隊目掛けて突撃して、「関ヶ原の戦い」が始まりました。



「石田三成隊」に向かって東軍「黒田隊」・「細川隊」が突撃、石田隊も地の利や大砲を使って善戦、一進一退の互角です。

しかし、南宮山の「毛利隊」や松尾山の「小早川隊」、「島津隊」は動かず、戦っているのは、西軍の3分の1に過ぎません。





戦況に業を煮やした「徳川家康」は、桃配山から関ヶ原の陣場野へ本隊を移動。

動かない松尾山の「小早川隊」に向かって一斉射撃を行なう。

驚いた「小早川」は、松尾山を駆けおり、西軍を裏切り「大谷隊」へ向かって突撃。

「小早川秀秋」の裏切りを予測していた「大谷隊」は、すぐに対処して「小早川隊」を迎撃。

善戦して、一度は松尾山まで押し戻す。

しかし、静観していた脇坂・小川・朽木隊などが寝返り、「大谷隊」に攻撃開始。

「大谷隊」は大混乱、敗北を悟った「大谷吉継」は自刃。「宇喜多隊」は総崩れ、「小西隊」も壊滅。

勝利を確信した東軍は、「三成隊」に総攻撃。三成は、再起を目指して、伊吹山へ逃走。

戦場に最後まで残った「島津隊」は、「島津の通ぎ口」と呼ばれるて敵中突破を試みる。

鉄砲の一斉射撃を放ちながらの退却を成功させました。